



春江だより

第11号

平成25年2月28日

今年度の終了を迎えるにあたり

校長 小林 勝 人

早春の候、保護者の皆様、地域の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。早いもので、今年度もあと1か月で終了となりました。この3月もあっという間に去って行くと思います。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

学校改築へ向けての仮設校舎もできました。3月末の引っ越しを待つのみです。世間では、いじめや暴力、体罰などいやなニュースが表に出ていましたが、教育にいじめや暴力があってはなりません。子どもたちは、いつも大人の愛情を確認していると思います。本校の教職員にも伝えてありますが、是非ご家庭でも「わたしは、あなたが大好き」「あなたは、わたしの宝物」「どんなことがあっても、わたしはあなたの味方」の三つの思いが伝わるようにし、子どもから愛される大人であっていただきたいと思います。信頼関係の構築が大切です。信頼を保つためには、子どもも大人もですが、「約束を守る」「うそをつかない」「まちがってしまったら、謝り改善する」「他人の悪口は言わない」の四つを心掛けたいものです。

さて、この24年度一年間いかがだったでしょうか。毎年変わりにくく申し上げておりますが、「有終の美」という言葉にもあるように、最後をしっかりと引き締めて参りたいと存じます。運動会、音楽会など大活躍できました。いずれにせよ、子どもたちは、1年間の目標を達成するために活躍し、最後までやり通すことができたと思います。

そして、6年生は、3月22日に「卒業証書授与式」、1～5年生は、25日に「修了式」を迎えます。6年生にとっては、小学校の全課程を修了する大切な行事となります。最後のまとめとして、厳粛な中で挙行したいと考えます。あと1か月もすれば、6年生は中学生に、その他の子どもたちもそれぞれ1学年進級を迎えます。あっという間にやって来ます。4月に備えて準備を整えていただければと存じます。

ところで、改築工事関係者のお取り計らいにより、校庭の体育館入口側にはわずかばかりですが、桜の木が残されています。卒業式から入学式にかけて花が咲くと思います。この花の下でまた別れと出会いが待っています。唱歌「花」の「見ずやあけぼの 露あびて われにもの言う 桜木を・・・」や西行の「この春は きみに別れの惜しきかな 花のゆくへも思ひ忘れて」を思い浮かべます。

最後になりましたが、今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には、数々の学校行事、学校応援団の活動、朝の登校指導、PTA活動、地域の活動、そして、すくすくスクールの活動等々、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。4月から、約2年間仮設校舎での生活となります。ご不自由をおかけします。春江小学校の益々の発展のため、今後とも、ご支援・ご協力・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。